



思いをつなぐ 思いをおくる

校長 村松 治

体育館東側の紅梅のつぼみが先週からほころび始め、2月の声が聞かれると同時に見ごろを迎えています。桃の節句も来月、桜の開花・満開予想も早くも出される頃となりました。古来から日本で愛されてきた梅・桃・桜は、遠くから一見しただけでは、見分けにくいことがあります。どれもバラ科の植物ゆえです。春を彩るこれら似ている花にも、開花の時期や花卉の形、葉の付く時期などには違いがあります。そして、その違いは、どちらがきれい、優れているということではなく、それぞれのよさがあり、そのままの姿が美しいと感じられます。

紅梅の向こうでは、「長なわチャレンジ」に取り組んでいる子供たちがいます。声を合わせたり、友達同士励まし合ったりと、気持ちのよい姿が見られます。ただ、一方で、不得手な友達に辛辣な言動をとる子もいます。「できない」と初めから列に加わらない子もいます。一人一人には違ったよさがあります。また、よりよい自分を目指すための課題もあります。まとめの時期になってきました。自分自身を振り返り、互いによさを伸ばし合っていけるよう、あと30日あまり、一人一人に思いをこめて最後まで取り組んでいきます。



開校記念日 (昭和30年2月1日開校)

北三谷小学校 69 回目の開校記念日を迎えました。児童朝会では、開校した 1955 年当時の出来事や誕生した人のことを話題にしました。

- ・米大リーグのチームが来日し、全日本と対戦。日本は0勝15敗1分け。当時からは考えられないほど日本の野球が強くなったことに驚きです。
- ・テレビで見ない日はないほどのお茶の間の人気タレント2名が1955年生まれ。「彼らのお笑いやコメントは、人を傷つけることを言わない。人の嫌がることをしない。こうありがたいです。」と全校に伝えました。

※来年度は、70周年を迎えます。11月2日(土)に周年行事を開催します。全校児童と保護者・地域・区の皆様、教職員でお祝いし、ここでお会いできた縁を大切に、これからも北三谷小への思いをつないでいきたいと思ひます。

みんなの気持ちをおくります。

- ・5年生は起震車で震度7まで体験しました。「揺れると分かっているけど怖い。」などの声があがりました。体験して始めて分かります。先日、足立区でも震度3の地震が起きました。能登の方々がどれほどまでの不安を抱えて生活されているかと考えると心が痛みます。代表委員会が発案し、取り組んだ募金活動。東綾瀬区民事務所へ代表と担当教員で届けました。
- ・大谷グローブを児童全員が手にはめました。幼保との連携で来校した園児にも、さわってもらいました。夢を与えてくれた大谷選手には、右の写真のようなメッセージを3年生以上がタブレットで作成し、贈りました。作品は、後日HPに掲載します。



今月の生活目標 安全に気をつけましょう。

- きまりを守って安全に遊ぼう。
- 下校時刻を守ろう。
- 廊下、階段を静かに歩こう。

人文字で Thank you ~

2月の行事予定

学校行事は変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
1/28	29 朝会	30 書き初め展終	31 特別時程 クラブ クラブ見学(3年)	2/1 開校記念日	2 落語教室5年 1h 6年 2h 4時間授業(2年2組校内研究授業のため)	3
4	5 朝会 特別時程委員会 新1年説明会 (14:30) 後期短なわチャレンジ始	6	7 特別時程 4時間授業(区研修会のため)	8 集会	9 安全指導日 芸術鑑賞体験教室 (5年)	10
11 建国記念の日	12 振替休日	13	14 特別時程 4時間授業(小中連携のため)	15 集会	16 落語教室1・2年1h 3・4年 2h	17 合唱・合奏研究 演奏会 (北三ジュニバン参加)
18	19 朝会	20 集会(昼休み) 避難訓練	21 特別時程 クラブ(反省)	22 6年生を送る会 後期短なわチャレンジ終	23 天皇誕生日	24
25	26 朝会	27 クラブ設立ガイド ンス 交通安全教室 (1年・5年)	28 特別時程 委員会(反省)	29	3/1 感謝の会(6年) 13:40 保護者会 (4・5年)14:30 (1・2・3)15:20	2

「能登半島地震災害への募金」について

1月23日、24日の2日間で能登半島地震災害への募金を代表委員会から呼びかけました。多くの子供たちからそしてご家庭から温かいご支援をいただきました。児童と一緒に集計しました。126,631円にもなりました。私たちの力が大きな力になることを感じました。ご協力いただきどうもありがとうございました。



書き初めについて

1月11日、12日に3～6年生が体育館で書き初めを行いました。

3年生は「お正月」、4年生は「生きる力」、5年生は「平和の光」、6年生は「夢の実現」です。じっくり手本と見比べて、一画一画書いている姿が印象的でした。

